

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会 NEWS

2016 July

vol. 35

◀目次▶ P1…新年度の挨拶 P2～3…理事挨拶・組織図 P4…総会報告・歓迎会参加報告 P5～7…参加報告
P8～9…診療報酬改定について・各局からのお知らせ P10…理事会報告 P11…会員所属病院・施設一覧
P12…編集後記

新年度の挨拶

会長 内山 量史（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に熊本県を中心とした九州地方で発生した地震によってお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたします。また被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。我々リハビリテーション専門職も J R A T（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）が避難所生活における生活不活発病の予防やコミュニティーの形成に対してリハビリテーション専門職でしか出来ない支援を展開してきました。本会としてもチャリティー講演会の開催や義援金の募集などを実施いたしました。10 万円を超える義援金は被災県士会への活動支援として全額寄付させていただきます。会員皆様からの心温まる善意に理事会を代表して感謝申し上げます。



平成 28 年 4 月 27 日（水）に開催された定時社員総会には 116 名（当日出席 67 名、書面評決 26 名、委任評決 23 名）と多くの会員に出席いただき、理事会より提案させていただいた全ての議案に対して承認をいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。当会は法人格を取得して 3 年目を迎え、充実した学術・人材育成活動、職能活動や広報活動、県の事業への参画、関連他団体との合同事業の展開など、社会的に責任ある職能団体として成長しております。また、（一社）山梨県理学療法士会、（一社）山梨県作業療法士会との 3 士会合同事業の円滑な展開を図ることを目的に平成 27 年 8 月 1 日に「山梨県リハビリテーション専門職団体協議会」を設立しました。初代協議会長には当会の中村晴江副会長が就任し、訪問リハビリテーション実務者講習会、地域支援事業、特別支援教育、災害対策などに関する多くの事業が既に展開されております。

平成 28 年 3 月 21 日にリハビリテーション専門職団体協議会（3 協会）主催で行われた 3 協会合同都道府県士会会長会議では、山梨県、協会、3 士会が実施する地域リハビリテーション活動支援事業に関する研修会を統合した山梨県版の人材育成の概要が山本伸一会長（山梨県作業療法士会）より報告されました。また、昨年 3 士会で作成した介護予防に関するリーフレット「達者がいちばん」が、リハ専門職の地域への広報ツールの一つとして全国の士会長に紹介され、リーフレットの活用が勧められるなど、山梨県における 3 士会の連携はその事業内容まで注目されるほどになりました。

今後は山梨県においても市町村単位での地域包括ケアシステムの構築に向けた動きが活発になることが予想されます。言語聴覚士の力を十分に発揮でき、地域を支える人材を育成する目的で日本言語聴覚士協会 DVD 研修会（初期研修）を集中的に開催いたします。県士会の活動を自己研鑽の場として是非、活用して下さい。

今年度は役員改選に伴い新理事が数名就任されました。若い力を推進力に変え県士会事業の更なる充実を図っていきます。今後とも県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。

～新理事挨拶～

副会長：赤池三紀子 湯村温泉病院

会員の皆様のおかげで言語聴覚士の職域は拡大されてきましたが、地域ではリハビリ専門職として位置づけされているものの保健師やケアマネなどにはあまり知られていないのが残念です。今後も会長を補佐しながら言語聴覚療法の普及・発展、資質の向上に取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

理事：河西祐子 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

今年度も事務局を担当させていただきます河西です。県士会事業の拡大に伴い、会員の皆様に発信する情報は年々増加しています。できるだけタイムリーな情報をお届けできるよう努めていきたいと思っております。引き続きよろしくお願い致します。

理事：池神多加子 湯村温泉病院

この度、理事になりました池神です。この数年、三士会合同事業や研修会等を通して多職種との意見交換や連携の場が増えています。その中で ST が果たす役割やそれに応える質の向上を痛切に感じます。ST だからこそその柔軟性と細やかさを兼ね備えたコミュニケーション能力を高められるよう、会員の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

理事：和泉裕二 山梨市立牧丘病院

山梨市立牧丘病院の和泉裕二と申します。総会において皆様より承認を得て、今期で3期目の理事をさせて頂けることとなります。今期は、社会局・地域部の副部長と山梨県訪問リハビリテーション委員会を担当し、地域における言語聴覚士を必要とする方々への支援・協力と当会の活動を積極的に行っていきたいと考えております。

理事：桂川謙祐 甲府城南病院

今年度から理事を務めさせて頂くことになりました。教育部を担当させて頂きます。過去3年間、教育部の部員として、新卒者の先生方と多くの事を学んで参りました。新卒者研修会を学びの場として更に充実したものにしていきたいと思っております。新卒者の先生方の多くの参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。

理事：小池京子 国立病院機構甲府病院

今年度より学術局局長を務めさせて頂き、国立病院機構甲府病院の小池です。言語聴覚療法の幅広い職域において、より深い知識や知見を皆さんと共有できるよう、講演会や研修会を企画していきたいと思っております。微力ながらがんばりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

副会長：中村晴江 甲府城南病院

副会長の任をお引き受けして8年。念願でありました、一般社団法人の設立も果たし、内山会長の下、当士会も草創期から成熟期へと着実に歩みを進めております。私もこれまで、長く学術活動を中心に活動して参りましたが、今期から小池新学術局長にバトンをお渡ししました。新局長の下、更なる学術活動の充実が図られると期待しております。今期は、リハ団体協議会の職務も含め、「より良く生きる」「生活を支える」という原点にたち、会員の皆様と多くの研鑽を積み活動して参りたいと思っております。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

理事：赤池 洋 山梨大学医学部附属病院

内山会長の下、4年間理事を担当し県士会活動や3士会合同事業など多くの経験をさせて頂きました。今期は社会局一員として、県士会会員の皆様や他団体の方々との関係性を大切に、県士会活動の更なる発展に少しでも関わられるように努力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

理事：市川奈弥 巨摩共立病院

今年度初めて理事になりました。分からないことばかりで戸惑っていますが、まずは地に足をつけ、ひとつひとつ確実な仕事を心がけたいと思っております。言語聴覚士の資格を取得し、早15年の月日が経ちました。子育てから、徐々に仕事・自分の生き方について考える事が多くなりました。今は言語聴覚士としての自分と向き合い、磨いていきたいです。

理事：梶原さわか

健康科学大学リハビリテーションクリニック

今期も社会局地域部を担当させて頂くことになりました。昨今、私たちリハビリテーション専門職は、地域で活躍することを望まれることが多くなっています。私たち言語聴覚士が地域で何ができるのか、理事として自分に何ができるのかを模索しながら、職務を全うできるよう努力したいと思っております。宜しくお願いいたします。

理事：佐々木蘭子 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

今年度より会報編集・HP 管理部部長を務めます春日居の佐々木です。会員の皆様にとって情報発信の場と思われたい。皆様に最新の情報を、臨床に役立つ情報を発信できるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

理事：元木雄一郎 甲州リハビリテーション病院

今年度より理事を務めさせて頂き、研修部を担当させて頂きます。局長、部員と力を合わせて、患者さんの回復につながる、明日の臨床に活かせるような、有意義な症例検討会にしていけるように企画・運営をしていきます。会員の皆様の参加があつての症例検討会ですので、どうぞご協力をよろしくお願い致します。

理事：高橋正和 石和温泉病院

石の上にも3年と思い山梨に来たら、盆地の中に14年目となりました。以前は先輩をみて、後をついていけば良かったのに、背中をみせなくてはいけない立場になると伝えること、受け取ることの難しさを痛感します。当士会が社会に対する価値を提供できる団体として成熟していくために、求められている情報を発信していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

理事：吉澤由香 甲府城南病院

理事・学術局学術部の部長を務めます甲府城南病院の吉澤由香です。会員の皆様と同じく臨床家として働いている現場感覚や現場からの声を大切にして、会員の皆様の更なる専門性の質的向上に貢献してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

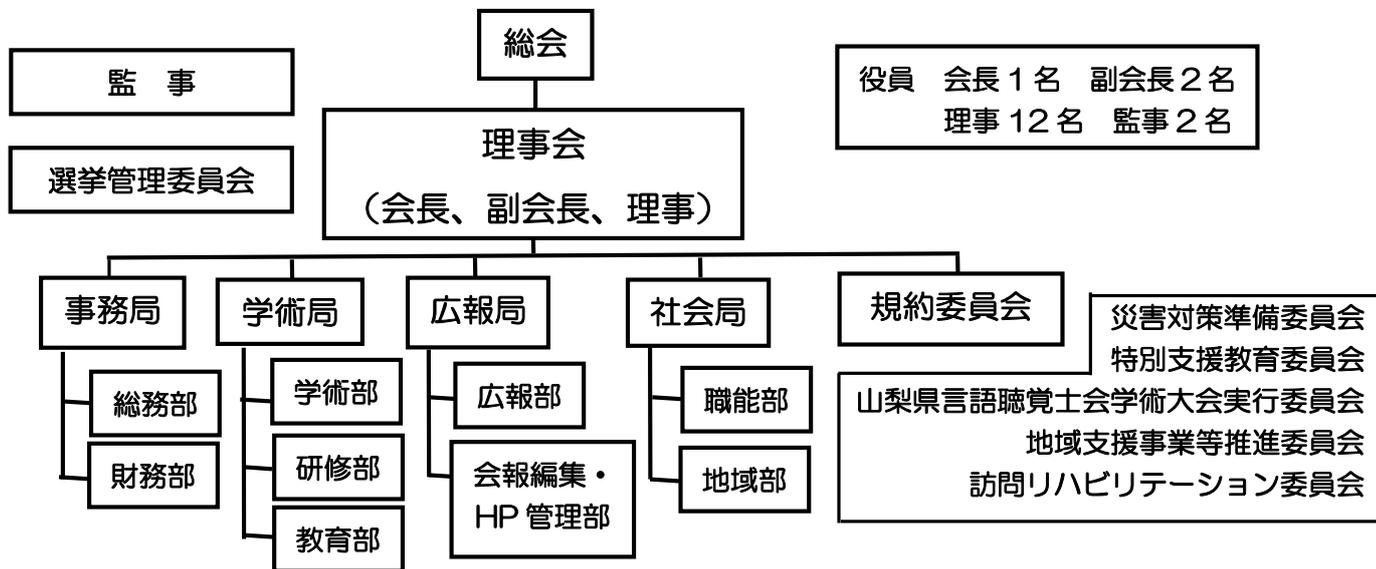
監事：角田美奈 山梨リハビリテーション病院

今年度より監事を務めさせていただくことになりました。出産後、県士会の活動へはあまり参加できておらず、申し訳ありません。微力ではありますが、少しでも会員の皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

監事：深澤有里 山梨赤十字病院

今期も引き続き監事を務めさせていただくことになりました。年々活動の場が広がり県士会の事業も増えてきています。その中で監事の役割の重要さも感じています。引き続き、公正かつ適正な業務に努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

＜平成28年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 組織図＞



＜平成28年度 役員一覧＞

会 長	内山 量史	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
副会長	赤池 三紀子	湯村温泉病院	中村 晴江	甲府城南病院
理 事	赤池 洋	山梨大学医学部附属病院	池神 多加子	湯村温泉病院
	和泉 裕二	山梨市立牧丘病院	市川 奈弥	巨摩共立病院
	桂川 謙祐	甲府城南病院	小池 京子	国立病院機構甲府病院
	高橋 正和	石和温泉病院	吉澤 由香	甲府城南病院
	元木 雄一朗	甲州リハビリテーション病院		
	河西 祐子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
	佐々木 蘭子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
	梶原 さわか	健康科学大学リハビリテーションクリニック		
監 事	角田 美奈	山梨リハビリテーション病院		
	深澤 有里	山梨赤十字病院		
第9回学術大会	大会長	赤池 洋		
	実行委員長	小池 京子		

平成 28 年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

平成 28 年度 定時社員総会が、4 月 27 日（水）ベルクラシック甲府で開かれました。出席者数は 116 名（会場出席 67 名、書面表決 26 名、委任状提出 23 名）で、矢澤史帆氏が議長に選出され、議案の審議に入りました。第 1 号議案 平成 27 年度事業報告に関する件が内山量史会長より、第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告に関する件が小池京子財務部長より説明されました。また、第 3 号議案 監査報告に関する件が深澤有里監事より報告されました。第 4 号議案 平成 28・29 年度役員承認に関する件では、理事 15 名、監事 2 名が選任されました。続いて、第 5 号議案 平成 28 年度事業計画案に関する件では、内山会長より各部局・委員会の事業計画について説明され、第 6 号議案 平成 28 年度収支予算案が小池財務部長より提案されました。その後、第 7 号議案 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件が中村晴江専門職団体協議会会長より報告されました。上記議案は、採決の結果いずれも賛成多数で承認されました。

最後に内山会長より、今年度も県の事業への参画や 3 土会合同事業の推進を通して地域の職能団体としての役割を果たしていく所存であり、会員の積極的な参加をお願いしたいとの挨拶があり、総会は閉会しました。

平成 28 年度 新入会員歓迎会 参加報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 坪井 沙妃

平成 28 年度新入会員歓迎会が、4 月 27 日（木）にベルクラシック甲府において開催されました。定期総会後にも関わらず多くの会員が参加し、14 名の新会員の方々を歓迎しました。合格率 67.6%という難関であった、第 18 回国家試験の合格おめでとうございます。歓迎会は赤池副会長の司会により、新会員の方の紹介から始まりました。皆さんの初々しさや熱意が、こちらにも伝わってきました。自然豊かであり、県士会活動も盛んな山梨によろこおいで下さいました。

私達も 3 年前にこの地を踏んだ時、右も左もわかりませんでした。先輩・同期に支えられ、充実した日々を送ることができています。山梨県では新人研修会はもちろん、講演会・症例検討会など学ぶ環境が整っています。また、山梨県理学療法士会・作業療法士会との繋がりも深く、交流する機会もあると思います。これから、多くのことをともに学び、臨床に活かしていきたいでしょう。

新会員の方々と一緒に働いていける事を心より嬉しく思います。今後は、一般社団法人山梨県言語聴覚士会の一員として一緒に頑張っていきたいと思います。



学会・研修会報告

特別支援教育委員会研修会参加報告

健康科学大学リハビリテーションクリニック 渡邊 要

平成 28 年 2 月 11 日にスコレーセンターで開催された特別支援教育委員会研修会に参加しました。行政の立場から、山梨県教育庁の近藤春樹先生に「特別支援教育の現状とリハビリテーション専門職に期待すること」をテーマにご講演をいただきました。また、PT、OT、ST のリハ専門職の立場から、保育や教育の現場に介入したことに関する実践報告をいただきました。

近藤先生の講演では、山梨県で行われている取り組みや教育の現状について知ることができ、大変参考になりました。特に、「合理的配慮」については、大変興味深い内容でした。

「合理的配慮」とは、障害を持つ人々に対して必要な環境整備などの配慮を行うことだそうです。平成 28 年 4 月 1 日から施行された「障害者差別解消法」では、国の行政機関や地方公共団体等が、合理的配慮を行うことが法的義務になったとのことでした。

適切な「合理的配慮」を提供するためには、リハ専門職の意見や介入が重要だとの話もありました。リハ専門職の話の中で、教育の現場での介入により、子ども達が変わっていく様子も知る事ができ、大変勉強になりました。自分も教育の現場等に出られる ST になれるよう日々努力していきたいと思えます。

第 2 回地域支援事業等推進委員会研修会参加報告

甲州リハビリテーション病院 高野 妙美

平成 28 年 2 月 4 日に県立文学館で開催されました、研修会に参加させて頂きました。山梨県長寿社会課の貴井信幸先生、大分県理学療法士協会会長の河野礼治先生から、地域ケア個別会議の目的や依頼までの流れ、現状と問題点についてお話を頂き、知識を深める事が出来ました。

ケア会議においてリハ専門職が期待されている事は、主に問題行動の原因、予後予測、能力を引き出す方法です。しかし、リハ職の評価力及び問題解決能力の低下が課題となっています。また、専門的な能力だけでは

なく、その地域の特色を理解している事や、服装や態度、他職種から情報を引き出す力が必要です。助言者の人間性を含めた人材育成や地域との連携、助言者を派遣するまでの体制作りが今後必要である事を学びました。

研修会に参加し、身体機能に偏ったリハの見直しが必要であり、活動や参加等の生活機能全般を向上させるためのバランスのとれたリハの実施が求められている事を痛感しました。また、コミュニケーション能力や社会人としての振る舞い、その地域の特性を把握する事も重要であると感じました。まずは地域に関心を持ち、地域の特性を把握していきたいと思えます。



一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 第27回研究大会 in 沖縄 発表報告

甲府城南病院 吉澤 由香

去る3月4日～5日に、沖縄県で開催された一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会第27回研究大会 in 沖縄でポスター発表を行いました。演題タイトルは「失語症を伴う重度仮性球麻痺患者の在宅での経口摂取継続に対するチームアプローチ」です。重度の摂食嚥下障害患者に対し、在宅での楽しみレベルの食事の継続を目標に、言語機能・摂食嚥下機能の機能改善に対するアプローチに加えて、生活環境や介護力を考慮した家族指導や、退院後の支援機関との連携等、環境面にも取り組んだ内容を発表しました。

取り組みの過程で、多職種や在宅生活を支える家族との連携だけではなく、退院後のQOLを支える居宅サービス事業者や外来リハビリ担当者とも連携・情報共有を行いました。当会は県土会活動を通じて会員同士が密に繋がっているため、情報伝達・共有をスムーズに行うことができ、患者様・ご家族様は退院後の生活やリハビリにおいても大変安心されていました。その後、定期受診ごとに「家でも一緒に食卓を囲んでおいしく食べています」と笑顔で報告してくれます。この笑顔を見ることが私の原動力であり、ST冥利に尽きる瞬間です。今後もこの現場での声を発信していきたいと思います。



回復期チームのみんなと！

PT・OT・ST 指導者育成研修会参加報告

湯村温泉病院 矢澤 史帆

平成28年3月6日(日)、山梨県立博物館にてPT・OT・ST 指導者育成研修会が開催されました。

今回の研修会は岡山県津山市役所の安本勝博先生を始め、2名の先生方による講義と3時間以上に及びグループワークもあり、より具体的で実践的な内容でした。安本先生からは、私たちリハビリ専門職の心得から地域ケア会議における支援のあり方や住民主体の通いの場を作り、なおかつ継続させていくためのポイントまで、津山市の事例を交えながらのお話がありました。グループワークでは、実際に山梨県内の市町村を取り上げ「住民主体の通いの場」を立ち上げるためのディスカッションが行われました。その中で、地域の特性や資源の把握の重要性を改めて感じ、そのためには自分自身も地域の一員であるという自覚や日頃からの多職種との顔の見える関係づくりが大切であると感じました。また、対象者の方々が望む生き方を支えるためには、具体的で実現可能なアドバイスが出来るように、専門性はもとより柔軟な思考と発想も求められていると強く感じました。

災害対策準備委員会研修会参加報告

国立病院機構甲府病院 小林 尚弘

災害対策準備委員会研修会に参加させていただきました。研修会では、「災害支援における山梨県の現状とリハ専門職に期待すること」、「災害支援においてリハビリテーション専門職に期待すること」についてお話をして頂きました。

山梨県は、大きな災害はほとんど起きていなく、私自身も防災に対する意識があまりありませんでした。今回お話を聞いて、県の防災に関する役割や重要性を知ることができ、今後災害が起きた際の行動に活かしていきたいと思いました。

災害支援でのリハビリテーションについて、災害支援でのリハビリとは具体的にどのような事を行っているのか知りませんでした。地域住民が何に困っていて、今何が必要なのかを考えていかなければなりません。生活の環境を整えたり、ストレスがかからないように必要な物品の提供などこれらもリハビリ支援であることを知りました。避難所や仮設住宅など支援する内容が異なってきますが、地域住民、支援に関わる方々が共に情報を共有し、連携していくことが大切であると感じました。今回参加させていただき、改めて災害に対する意識を高めていかなければならないと思いました。



「高齢期における聴覚障害について」の学術講演会参加報告

巨摩共立病院 西澤 伸

今回の講演会では実際に臨床の場で聴覚を専門に働いていた先生の生の声を聞かせていただきました。私は今まで、言語面や嚥下機能面が中心になっていたため、今回の学術講演会は、改めて聴覚について学ぶとても良い機会になりました。

実際に講演会では、改めて学ぶことや新しく知ることなど、学ぶことが多くあり、とても自身のためになったと思います。特に、難聴と認知症との関係性についての話はとても面白く、興味がわきました。

私の職場でも、補聴器や集音器を用いている患者様は多くいらっしゃいます。そのような方々と

関わっていく際に、今回の学術講演会で教えて頂いたことを活かしながら、より患者様のために繋がるリハビリを提供していきたいと思えます。

最後にはなりますが、今回の学術講演会で講師を務めていただいた鈴木恵子先生、また、講演会の場を作っていただいた山梨県言語聴覚士会の先生方に感謝し、今後も言語聴覚士として働いていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



今回のリハビリテーションに関する改定内容は①早期からのリハ ②質の高いリハ（アウトカム評価） ③多様な状態に応じたリハ ④具体的な目標を意識した戦略的なリハ という4つのキーワードが挙げられています。

①早期からのリハの推進

1) 「初期加算」、「早期加算」の算定要件が見直されました。慢性疾患については手術や急性増悪を伴う場合のみと明記されました。算定できる期間としては、脳血管疾患等リハ料・廃用症候群リハ料・運動器リハ料の場合は発症・手術又は急性増悪がある場合はその日から、それ以外は最初の診断日から起算となりました。

2) 「ADL 維持向上等体制加算」 80 点となりました。あらかじめ登録した従事者が病棟で6時間以上勤務した日に限り算定できるというように限定されました。

②質の高いリハを推進

1) 回復期リハ病棟においてアウトカム評価が導入されました。回復期リハ病棟は、医療機関単位で、3か月ごとに“規模”と“頻度”について報告をすることになりました。“規模”については、「報告の前月までの6ヶ月間に回復期リハ病棟から退棟した患者数が10名以上」、「頻度」については、「報告の前月までの6ヶ月間の回復期リハ病棟のリハの1日平均提供単位数が6単位以上」とされました。上記2点について基準を満たさない施設については、これまで同様実績に応じた申請となります。基準に達している場合は、実績指数を用いた評価を行うこととなります。実績指数については定められた計算式から算出します。「報告の前月までの6ヶ月間に退棟した患者を対象とした実績指数が2回連続で27未満」の場合は、「1日6単位を超えるものは回復期リハ病棟入院料に包括される」こととなります。アウトカム導入にあたり不必要に入院期間を延長している施設に対し、適切に取り組んでいる施設との差別化を図る意味も含まれていると考えられます。

2) 回復期リハ病棟入院料体制強化加算の施設基準が見直され、「体制強化加算2(120点)」が新設されました。病棟業務に従事する時間は定められていますが、医師が外来との兼務が可能となりました。

③多様な状態に応じたリハを推進

1) 摂食機能療法の対象が明確化され、これまでの定義に加え、「内視鏡下嚥下機能検査、嚥下造影によって他覚的に嚥下機能の低下が確認できる患者であって、医学的に摂食機能療法の有効性が期待できるもの」という状態に合わせた定義が追加されました。

2) 「経口摂取回復促進加算2(20点)」が新設されました。

3) 摂食嚥下障害に関しては、「間歇的経管栄養法加算(60点/日)」が新設され、間歇的経管栄養を実施している施設が評価されるようになりました(回復期リハ病棟では入院料に包括)。

4) 廃用症候群リハ料が新設され、「急性疾患(治療の有無は問わない)に伴う安静による廃用症候群であって、一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力及び日常生活能力の低下をきたしている者」に対して、120日を上限に算定できます。誤嚥性肺炎による廃用に対しては廃用症候群リハ料での算定が可能となりました。

④具体的な目標を意識した戦略的なリハの推進

1) 「目標設定支援等・管理料(1:初回 250点/2:2回目以降 100点)」が新設されました。これは、機能予後の見通しについて説明し、患者・家族の要望などを把握した上で、目標を共有することで、要介護被保険者の維持期リハの介護保険への移行を図るものです。要介護被保険者の維持期リハの算定は基準の60%の点数となり、さらに介護保険のリハの実績がない場合は上記80%の算定となり、基準の48%となります。また、要介護被保険者に対し疾患別リハを行う場合、標準的算定日数の3分の1経過後、目標設定支援等・管理料を算定せずに実施している場合は、基準の90%に減算されることとなります。なお、目標設定支援等・管理料を算定してから3か月間は、1月につき5日を超えない範囲で医療保険と介護保険のリハの併給が可能となりました。

その他、「認知症ケア加算」、「歩行運動処置:ロボットスーツによる」が新設され、多種類の服薬を行っている患者の処方薬剤を総合的に調整し処方薬剤数を減少した場合についての評価も新設されました。

平成28年度診療報酬改定の詳細な情報は県土会HPをご参照下さい。

各局からのお知らせ

事務局

今年度も県土会活動が円滑に行えるよう、理事会開催や各種情報発信、財務管理等に取り組んでいきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

- ・社員総会後にベルクラシック甲府で開催されました新入会員歓迎会には74名(内、新入会員11名、来賓7名)のご参加をいただきました。ありがとうございました。
- ・社員総会以降の会員動向についてお知らせします。
- ・退会:川島 正史先生(甲州リハ病院)
- ・入会:片桐 紗菜恵先生(石和共立病院)
- ・改姓:渡邊(鈴木) 千裕先生(石和共立病院)
- ・会費納入がお済みでない方は、池神財務部長(湯村温泉病院)へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチ ヨウカクシカイ

広報局

広報局では、当土会の活動を発信するだけでなく、社会の声を広く聞き、“今”求められている言語聴覚士を会員の皆様に伝えられるよう、部員一同精進してまいります。

<会報編集部・ホームページ管理部>

- ・会報誌「県土会NEWS」年間3回発刊、WEB版掲載を予定しております。
- ・ホームページにはイベント情報や会員向けのお勧め情報など、旬の情報を随時提供してまいります。

<広報部>

- ・一般向けの広報活動、広報グッズの作成・配布、県土会事業写真データの管理などを行います。

学術局

今年度も講演会や研修会を企画していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

<学術部>

生涯学習基礎講座

日時:平成28年7月6日(水) 18:30~

会場:山梨県青少年センター 第1研修室

内容:「協会の役割と機構」(内山 量史会長)
「職種連携論」(赤池 洋先生)

第2回 学術講演会

日時:平成28年8月5日(金) 18:30~

会場:男女共同参画推進センター 中研修室

テーマ:「小児高次脳機能障害に対する支援」(仮)

講師:廣瀬 綾奈先生

(千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション療法部 小児療法室言語療法科 上席言語聴覚士)

<研修部>

小児領域勉強会

日時:平成28年7月2日(土) 14:30~

会場:甲府共立診療所

内容:構音障害(仮)

<教育部>

第3回 新卒者研修

日時:平成28年7月5日(火) 18時45分~

会場:国立病院機構甲府病院 4階大会議室

内容:対人コミュニケーションⅡ
摂食嚥下障害の診かた(仮)

社会局

<職能部>

・日本言語聴覚士協会および山梨県理学療法士会・山梨作業療法士会など関連団体との連携、行政との連携・協力を努めていきます。

<地域部>

・地域における小児領域や当事者団体との連携・協力・交流に努めていきます。

・地域リハビリテーション活動支援や広域支援センターの事業協力を努めていきます。

理事会報告

【平成27年度 第9回理事会議事録】

日 時：平成27年12月18日 18時40分～21時
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史
出席理事：内山量史・赤池三紀子・中村晴江・赤池洋・梶原さわか・小池京子・佐々木蘭子・藤巻千春・矢澤史帆・河西祐子
出席監事：深澤有里・望月眞由美
欠 席 者：和泉裕二・高橋正和・武井徳子・保坂みさ・吉澤由香
(以上理事)

<協議事項>

1. ST代表者会議を1月15日(金)19時から開催することが承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 「地域ケア個別会議(模擬研修会)」に関するモデル研修会、平成27年度地域リハビリテーション従事者研修会、3土会地域支援事業等推進委員会への出席が報告された。
3. PT・OT・STバンクについて資料に基づき説明された。
4. ST協会代議員選挙に赤池副会長が当選したことが報告された。

【平成27年度 第10回理事会議事録】

日 時：平成28年1月15日 18時30分～19時
場 所：魚民 石和店
議 長：内山量史
出席理事：内山・赤池三・中村・和泉・赤池洋・梶原・小池・佐々木・高橋・武井・藤巻・矢澤・吉澤・河西
出席監事：望月
欠 席 者：保坂(理事)・深澤(監事)

<協議事項>

1. 平成28年度定時社員総会を4月27日(水)に開催することが承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 第8回学術大会チャリティバザーで寄せられた義援金45,036円を1月15日に福島県言語聴覚士会へ寄付したことが報告された。
3. 山梨県PT・OT・ST介護予防研修会、地域支援事業等推進委員会、特別支援教育委員会への出席、在宅医療チーム形成促進のための視察研修への参加が報告された。
4. 山梨JRAT会議の報告が行われた。

【平成27年度 第11回理事会議事録】

日 時：平成28年2月19日 18時45分～21時30分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史
出席理事：内山・赤池三・中村・赤池洋・和泉・梶原・小池・佐々木・高橋・藤巻・保坂・矢澤・吉澤・河西
出席監事：深澤・望月
欠 席 者：武井(理事)

<協議事項>

1. 平成28年度定時社員総会、新入会員歓迎会を4月27日(水)にベルクラシック甲府で開催することが承認された。
2. 新卒者研修の全回出席者を新入会員歓迎会で表彰することが承認された。
3. HPに事務局のメールアドレス、「山梨県リハビリテーション専門職団体協議会」の項目を追加することが承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 介護職場人材育成研修、平成27年度第1回山梨県地域包括ケア推進協議会、第2回地域支援事業等推進委員会研修会、特別支援教育委員会合同研修会、3土会合同意見交換会の出席が報告された。
3. 平成28年度予算案に関して検討した。各部署は総会議案書のフォーマットに沿って資料を作成し期限までに事務局に提出することが確認された。

【平成27年度 第12回理事会議事録】

日 時：平成28年3月16日 18時40分～22時10分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史
出席理事：内山・赤池三・中村・赤池洋・和泉・梶原・小池・佐々木・高橋・藤巻・矢澤・吉澤・河西
出席監事：望月
欠 席 者：武井・保坂(以上理事)・深澤(監事)

<協議事項>

1. 来年度のホームページの運営方法について協議し、インターネット環境に関しては、今後継続して審議していくこととなった。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 平成28年度社員総会議案書の検討を行った。
3. 山梨県立図書館への寄贈図書が報告された。
4. PT・OT・ST指導者育成研修会、県特別支援教育体制強化事業の報告が行われた
5. 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策準備委員会研修会の開催、気道異物除去トレーニング用ベストの購入が報告された。
6. 山梨県訪問リハビリテーション協議会の解散ならびに山梨県リハビリテーション専門職団体協議会への合併が報告された。

書記：江川 恵、安富朋子
議事録作成：河西祐子

平成 28 年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

平成 28 年 6 月現在

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597
恵信梨北リハビリテーション 病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5811 (リハ部) Fax 055-241-8660
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614	今村耳鼻咽喉科 めまい・難聴クリニック	400-0124 甲斐市中下条 868	Tel 055-277-8741
健康科学大学 リハビリテーションクリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町 小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
笛吹中央病院 リハビリテーション科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985	山梨厚生病院 リハビリテーション室	405-0033 山梨市落合 860	Tel 0553-23-1311 Fax 0553-23-0168
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727
湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel 0553-47-3131 Fax 0553-47-3434	あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890
山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
北社市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北社市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992			

<福祉関係>

名称	所在地	電話
しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町養山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221

<教育関係>

名称	所在地	電話
富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
田中美郷教育研究所 ノーサイドクリニック甲府	400-0858 甲府市相生 1-3-16 まごころ補聴器内	Tel 055-233-9286 Fax 055-233-9266
山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韭崎市旭町上條南割 251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal (ペプチサル)とは、

「Peptide (ペプチド)」+
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売



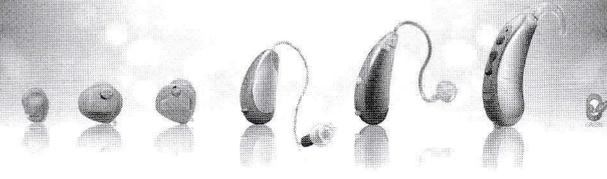
T&K ティーアンドケー株式会社 0120-555-350 www.comfort-tk.co.jp



RIONETMAJES

リオネットマジェス

新たなる聞こえの感動へ
リオネット補聴器の技術を結集した
リオネットマジェス誕生



認定補聴器専門店
山梨リオン補聴器センター

〒400-0032 甲府市中央5丁目2-29
受付時間/月曜日～土曜日 朝9時～夕方5時まで
定休日/日曜日・祝祭日 駐車場あり

お気軽にご相談ください **0120-293321**



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い
授食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介
様々な製品を取りそろえています。

<p>毎日違う味が楽しめる 10種類の味</p> <p>エンジョイゼリー</p> <p>プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 アップル味 ゆず 抹茶 スイートポテト味 りんご味</p>	<p>個別の栄養補給に最適な 食べきりサイズ</p> <p>エンジョイカップゼリー</p> <p>いちご味 キャラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴー味</p>	<p>無糖ゼリー金べらるる40g</p> <p>エンジョイ ハイカロリーゼリー</p> <p>りんご味 をせ味</p>	<p>トロミの質の向上とほやさを実現</p> <p>クビリン Quickly</p>
--	---	--	---

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。
0120-52-0050 クリニコ 総機 http://www.clinico.co.jp 森永乳業グループ病院栄養部門 株式会社クリニコ

編集後記

新年度を迎え、今年度から会報編集部はホームページ管理部と一緒に活動をしていくこととなり、新たなメンバーを迎えてスタートしました。先日行われた新旧のメンバーの引き継ぎでは、新たな発想が生まれ、よりよい企画内容の掲載が出来るのではないかと期待がもてる会となりました。今年度も昨年度同様、年3回のニュースの発行を予定しております。ホームページでも随時更新を行ない、新しい情報を提供していきます。会員の皆様に楽しんで読んでいただける、また、山梨県言語聴覚士会が身近に感じられる企画に取り組んでいきたいと思っております。

今年は、リオオリンピックが開催されます。オリンピックに負けないように、会報編集部も盛り上がっていきたいと思います。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内山量史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

- | | | | | | | |
|-----|---------|------|-----|----|----|-----|
| 石和 | 温泉 | 病院 | 高橋 | 正和 | 坂井 | 隆一 |
| 石和 | 共立 | 病院 | 渡辺 | 千裕 | | |
| 一宮 | 温泉 | 病院 | 倉島 | 雪乃 | | |
| 春日居 | サイバーナイフ | リハビリ | 佐々木 | 蘭子 | 小澤 | しず香 |
| 恵信 | 甲府 | 病院 | 藤原 | 裕己 | | |
| 白根 | 徳洲会 | 病院 | 村上 | 上薫 | | |
| 国立 | 病院 | 機構 | 甲府 | 病院 | 小松 | 富美子 |
| 山梨 | 厚生 | 病院 | 山本 | 雄太 | | |
| 湯村 | 温泉 | 病院 | 岡 | 大樹 | | |

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
<発行日> 2016年7月1日 第35刊